



ふれあい スポーツ

発行
滋賀県障害者スポーツ協会
〒520-0037 大津市御陵町4-1
滋賀県立スポーツ会館内
☎ 077-522-6000
FAX077-521-8118
Eメールアドレスshigassk@mx.biwa.ne.jp

第1回全国障害者スポーツ大会



國松団長（県知事・当協会会長）を先頭に入場する滋賀県選手団

10月27日から29日までの3日間、「感動体験二〇〇一」のローガンのもと、第1回全国障害者スポーツ大会が宮城県利府町のグランディ21・宮城スタジアムを中心に開催されました。

開会式では皇太子殿下のご臨席の下、滋賀県選手団は國松善次（滋賀県知事・当協会会長）団長を先頭に堂々の入場を行い、新しい世紀にふさわしい、華やかな幕開けとなりました。

全国身体障害者スポーツ大会と全国知的障害者スポーツ大会（ゆうあいピック）が統合され、最初の大会となる今大会には、過去最大の三三二〇名の選手が集まりました。

この大会では色々な意味で初めての体験となる事も多く、とくに男子四×一〇〇mリレーでも、大会記録に迫る素晴らしいタイムで優勝を飾るなど、



感動の炬火点火の瞬間！

くに滋賀県選手団として、國松知事・当協会会長を団長として参加した事をはじめ、身障と知的で宿舍が分かれるなど、今までに経験のない事が多くあり、来年以降の大会に向けて貴重なノウハウとなりました。

しかし、身障と知的の統一という点については、滋賀県においては平成5年の協会発足（改組）以来、強化練習会等を合同で行っており、また、県大会等も既に統合されているため、むしろ当然の事で、待ちかねた第1回大会となりました。

今年大会にあたり、滋賀県選手団は個人選手24名（身障9名、知的15名）、団体選手14名（知的サッカー競技、役員25名の計63名の選手団体制で臨みました）が、現地では分宿というハンデイにも関わらず、日ごろの成果で団結力を如何なく発揮し、同じ滋賀県の選手として統合大会のメリットを最大限に生かして、各競技とも素晴らしい成績を上げることができました。

活躍が目立ちました。また、水泳競技においても瀧山選手が昨年のゆうあいピック岐阜大会に引き続き2大会連続の大会新を叩き出すなど素晴らしい活躍がありました。さらに他の競技においても大会全体として入賞が困難になる中、個人競技においてはその実力を如何なく発揮する事ができました。

一方、昨年見事ブロック優勝を果たした、団体競技・サッカーにおいては、初戦で優勝候補の静岡県とあたるという厳しい組合せとなりました。これまでゆうあいピックをはじめ、交流試合でも勝利の経験がない静岡県に対し、積極的に攻めた滋賀県チームは、前半に先制点を上げ、その得点を守りきり1対0で接戦を制し、このカードに於いて記念すべき初勝利を上げることが出来ました。

そして続く2回戦は優勝候補の東京都とあたり、大熱戦を繰り広げました。前半に失った2点を後半に1点返すなど、攻め続けましたが、惜しくも時間切れとなり、1対2で涙を吞みました。

今回、入賞こそ逃したものの、実力はトップクラスであること印象付け、とくに対静岡戦勝利のニュースは、その他の競技会場にもすぐに伝わり、滋賀県チーム全体を大いに奮い立たせました。

なお、東京都は、昨年のブロックの優勝者、島根県を1対0で破り、決勝戦では8対1で札幌市を圧倒し、記念すべき第1回大会優勝を果たしました。

結果、滋賀県として金17、銀7、銅5の計29個の入賞があり、併せて自己新記録が17も出る大変嬉しい結果となりました。来年の第2回全国障害者スポーツ大会は、平成14年11月9日から11日までの3日間、高知県春野総合運動公園を中心に開催されます。

大会のマスコット



ケヤッキー

第1回全国障害者スポーツ大会

各競技代表 参加感想文

やればできる!

八日市市 新谷善彦

第1回全国障害者スポーツ大会に参加して大きな感動を受けました。

入場行進では25年前に出場した佐賀大会の思い出がよみがえり、再びの入場行進に感激し、あのときは金メダルが取れず悔しい思いをしたことをなつかしく思い出しました。

今回は立三段跳で大会新記録が出せ、念願の金メダルが獲得でき非常に嬉しくホッとしました。同時に大変辛かった今夏、全国大会に向けての強化合宿のことも次々と思ひ出されました。

運動を始めたばかりの私はコーチの先生が驚かれる程体が硬くストレッチ体操についていくのが精一杯でした。また、強化合宿の途中に、熱中症で病院に



大会新の立三段跳びの新谷選手

運ばれたりする事もありましたので、家族は心配して「こんな状態で全国大会に出場できるのだろうか」と半信半疑だったようです。私自身何度も「やはり無理だ」「いや、やればできるかもしれない」との思いが交錯しながらの特訓でしたが、多くの人に指導していただき励まされ「やはり無理だ」との思いは小さくなっていき、強化練習を乗り切ることができました。

第1回という記念すべき全国大会での自己ベスト記録の金メダル。「やればできる」ということを身を持って学び、大きな人生経験をする事ができたことをとても嬉しく思います。

これまで関わってくださった方々、励まし力つけて下さった方々、多くの支えがあり出せた結果です。本当にありがとうございます。

とてもたのしかった

大津市 長谷川明美

みやぎにいつて、とてもたのしかったです。ケンカもしたけどがんばりました。みやぎのごはんおいしかったです。あべさんとなかよくしました。いっぱい、ともだちをつくったことがたのしかったです。また、みやぎにいきたいです。ひこうきにのったのがたのしかったです。しおたさんが、はなしをしてくれました。ありがとうございます。

全国大会に出場して

信楽学園 小菅 仁

宮城大会に出られることが決まり、何度も練習をしてきました。いせぼうコーチや原コーチの指導をうけてがんばりました。初めて飛行機に乗って仙台へ行きました。そしてニュー小松

ホテルにとまりました。次の日、練習をしました。プールがテレビで見たオリンピックのように、大きく、設備の良さにおどろきました。また、グランディ21宮城スタ

ジアムで全国の多くの選手たちにもびっくりしました。入場行進でスタジアムのすごい大きさや観客の多さにびっくりしました。

28日(日)、大会2日目は、田中さんと僕とみつちゃんが出場しました。あさづまさんやみんなががんばって泳ぐのを見て、僕は緊張したけれど、がんばって泳ぎました。その時、たくさんさんの拍手をもらい、とても感動しました。お父さんやお母さんも遠い所まで見に来てくれて、応援してくれました。そして、たくさんさんの選手たち一人一人ががんばっているのを見て、僕もがんばらなければと思いました。これからも水泳をつづけて、来年も出られるようにがんばります。たくさんの人たちに出会えて良かったと思います。



左より浅水さん、伊勢坊コーチ、小菅選手、田中選手



スタンドで声援を送る長谷川選手



金メダルを胸に喜び一杯の浅妻選手

胸が一杯になり…

甲西町 浅妻祥人

第1回全国障害者スポーツ大会の水泳競技の選手として参加させて頂きました。

以前からスポーツは大好きで野球やサッカーをテレビで観たりしていましたが、競技としてのスポーツとは無縁だと思っていました。

5月に出場選手の決定の通知が届いた時はとても嬉しかったです。

強化練習が始まり、競技と娯楽とのスポーツの違いに戸惑いました。

大会まで1カ月を切った頃から重圧がかかり、体調を崩すのではないかと、捻挫してしまったりどうなるかと考え、とても不安でした。

そして、緊張のまま仙台に出発し、前日の公式練習の時には、他の誰もが速く思えました。

第1日目、開会式は良いお天

気で、胸を張って行進しました。午後からの1種目めの50m背泳ぎでは、ターンの不安を残しながらのスタートでしたが、良い感じで泳ぐことができ、両親の前で自己ベストでの金メダルでした。

第2日目は、次の日の出番も忘れて皆の応援をしました。

第3日目は2種目めの50m自由形だったのでリラックスしてレースに臨むことができ、また自己ベストでの金メダルを頂きました。表彰式では皆の声援が聞こえ、胸が一杯になり泣いてしまいました。

長いようで短い夢のような1週間でしたが、この貴重な経験を他の障害者の方にも味わって頂きたいです。

そしてご指導して頂いた方々、見守ってくれた多くの方々、本当にありがとう。

初めての 全国大会

甲西町 松崎法子

初めて全国大会に選ばれ、卓球として参加できた事がうれしかったです。

1日目は緊張し、自分の思うプレイができず、負けてくやし涙ができました。

でも、全国大会でいろんなきょうぎがあって、いろんな事に負けず頑張ってるみんなを見て、すごく、感動・勇気ももらいました。

私たちは障害があっても一人の人間として、またいろんな感動をどこかで見せています。

障害をもってるからと言って何もできないわけじゃないので、

なかには障害者になりたいし、差別をする人もいますでしょう。でもそれに負けず、毎日ふつうの人とかわらず日々をおくっています。

悲しかったが、 楽しい思い出

大津市 池田節子

初めて手にするディスク、怖いもの知らずで出た選考会に受かった。身障者にとって初めての競技だけに、暗中模索・手探りの練習が始まった。

長く暑い夏のストレスで1ヶ月半体調を崩し悩んだ。また、車の事故でムチ打ちに苦しみ、それでも毎朝車にアクユラシーの道具を積み、近江神宮の境内で練習をした。

コーチから「ディスクスは本当に全国大会にいけない、いろんな人たちと感動がえられてよかったです。

最後に、私にとつて全国大会はいい思い出でした。これからも、何事にも負けず頑張りましょう。ありがとうございました。



園松団長を囲んでの卓球メンバー(一番右が松崎選手)



結団式で宣誓をする池田選手

スナップを効かせる」と言われたが、どうすれば上手くディスクが回るのか、意味も理解出来なかつた。それでも行く先々で広場を見つけては投げた。肩を痛めた事もあつた。競技では3枚しか投げられないのに、30枚投げても思うように飛ばず、泣きたい事もあつた。

10月14日、希望が丘で県大会があり、2種目共に金メダルをもらったが、所詮井の中の蛙であつたと後で知つた。

出発の日、多くの友人に来て頂き、宣誓を上手く行うことが出来た。「頑張るぞ」と希望を胸に車中の人となつた。

現地では選手団は2つの宿舎に分かれた為、コーチとは離れる事となつた。

グランディ21は立派な競技場で、県知事と一緒に入場した。私が競技する場所は、そこからさらに先で、ホテルから1時間かかつた。

いよいよ私の競技の日、朝にコーチより「力むな」と注意があつた。結果、無風のため距離

が出ず、午後からは雨。20m弱の距離で金を手にした人もいと聞いた。

「明日は自分の得意なアクユラシー、必ず金を手にするぞ。」とサブグラウンドで練習したところ、7・8枚は楽に入り、これならいけると思った。

当日は朝から風が強かつたが、10時前より凄く風となつた。これが宮城の風なのか、輪の前で上から吹き落とされるディスクこの競技だけは自信があつただけに、崖から突き落とされた思いがした。風の怖さ、自分の無知さ・未熟さを改めて知つた。

悔しがつた。腹が立つた。情けなかつた。シヨゲている私に副団長が「明るく」と言つて下さるが、それには時間が掛かつた。

大会終了後の宴席で、各コーチが各自担当の選手を皆の前で誉め称え、成績を披露されました。私は自分のコーチに心の中でお礼をいいました。併せて、最後まで私の世話をしてくれた、

チャレンジド・パートナーの阿部君にもお礼をいいました。

大津に着いた時、友人達はいつもの笑顔で私を迎えてくれた。ありがたかった、そして嬉しかった。

やはり同僚は私にとって宝、子供や孫のような年の者とも仲良くなり、元気なエネルギーをもらい、少しは若くなつたかも知れない。

これから、また普通の日の自分に帰り、元気で行こう。

悲しかったが、沢山の楽しい思い出をありがとうございます。

ボウリングに参加して

信楽通勤寮 辻真喜夫

このスポーツ大会にむけての練習で、ボールがちよつとまがつていたので、コーチから自分の手がまがつているといわれたので、プロテクターをつけて練習をしてきました。



お世話になった谷田コーチ(左)と辻選手(解団式)

表彰台上の梅影選手(写真中央)



第1回全国障害者スポーツ大会に参加して

近江学園 梅影正一

10月27日から29日まで、宮城県・仙台市で行われた全国障害者スポーツ大会に参加しました。27日の開会式には皇太子様の姿もみえました。

ほとんどの出場した競技はフライングディスクです。フライングディスクは2種目あって、両種目とも出場しました。最初は28日にディスクを遠くにとばす「ディスクダンス」が行われました。なかなかうまく風に乗りませんでした。42mの記録で二位をとりました。

初めはなかなかストライクやスペアがとれなくてこまりました。最初はなかなかストライクやスペアがとれなくてこまりました。

このスポーツ大会の予選にて、ほかの人や父さんに頑張ってくださいと言われました。そして頑張ってみたら、スペアがでても自分もおどろきました。

県から予選の結果が届きました。開けてみたら全国障害者スポーツ大会の出場の通知でした。仙台に行つて、一日目はボウリング場で練習ボールをなげましたが、となりの人に影響をうけて、初めはうまくいかなくて、少しずつよくなっていきました。

29日は「アキュラシー7」に出場しました。この日は風が強い日、ディスクのコントロールが大変むずかしく、10枚中、5枚しか通過させることができませんでした。結果は5位でした。今までの練習でも風のある時は何回かありましたが、もう少しうまくできたと思います。

ほかの選手もこの日の風には苦労していて、あまり良い成績の人はいませんでした。

ぼくは、昨年もゆうあいピックに参加しました。今回はいろんな障害を持った人といっしょに競技したので、自分の力が良くなったと思えました。3日間、本当に楽しかったです。

来年は、就職するので参加できるかわかりませんが、時々練習もして、投げ方を忘れないようにしたいと思えます。

二日目は、試合を1ゲームしてよいスコアができました。

三日目は、3ゲームして初めはよい点数がでていたのですが、3ゲームの途中で手がつかれて点数があまりとれなくて、残念でした。

来年は、もっともつと練習をして、一つでも上に上られるようにがんばりたいと思います。



全国大会・宮城

信楽学園 西村 慎吾

今年もまた、1年間のメインイベントが宮城で開催される。さあ、始まりだと思いました。僕はサッカー代表のキーパーとして出場しました。

でも、代表になれるまで、いろんな大会・練習をしてきました。その中に、8月半ばにも静岡との対戦が1回だけありました。1-0で負けてしまいました。

一度一回戦から静岡とあたると聞いて、すごくうれしかったので、また、あの時のリベンジができると思うと、もつと自分も練習をしなければと思い、僕は頑張りました。

そして本番、キレイな試合がなされる上でプレーする事になりました。試合がはじまると、静岡ベイスで時間がすぎ、前半にカウ

ンターで滋賀が1点を取り、なおも静岡の攻撃が続きましたが、なんとか滋賀県が静岡を倒す事ができました。すごく、自分もメンバーも感動し、うれしかったです。

そして次の日、東京と試合し、1-2で負けました。すごく悔しく一番ショックでした。何でとめられなかったのか、何で迷ってしまったのか、苦しい思い出になります。

でも、これから就職やサッカーのキーパーをつづけるうえで、自分に何が必要なのかを見つける事ができました。

「判断」本当に自分にはこれが必要かと思えます。だからこれからは少しずつ努力をし、サッカーでも仕事でも頑張っていきたいと思えます。



スタジアムをバックにしたのサッカーメンバー(西村選手は國松団長の右)

第1回全国障害者スポーツ大会 滋賀県選手団成績表

⑦は10月27日、⑧は10月28日、⑨は10月29日に競技が行われたものを表す。

所属・選手名	性別	年齢組	障害区分	競技	種目	記録	順位	備考
大津市 脇 巖 雄	男	2部	片下腿・片大腿切断 両下肢不完全	陸上	⑦砲丸投	9 m27	1	自己新
					⑨ソフトボール投	32m02	2	自己新
八日市市 新谷 善 彦	男	2部	聴覚・平衡機能障害、音声・ 言語機能障害、咀嚼機能障害	陸上	⑨立三段跳	7 m m30	1	大会新
					⑨100m競走	15秒15	1	
栗東市 佐多 佳 子	女	2部	聴覚・平衡機能障害、音声・ 言語機能障害、咀嚼機能障害	陸上	⑦走幅跳	3 m61	1	自己タイ
					⑧100m競走	16秒26	1	
盲学校 富士 紗代子	女	1部	視覚その他	陸上	⑦走幅跳	3 m17	5	
					⑧100m競走	15秒66	4	自己新
盲学校 江口 正 則	男	1部	視覚その他	陸上	⑧1500m競走	5分27秒19	1	自己新
					⑨100m競走	13秒77	3	
新旭養護学校 太田 毅	男	1部	片下腿・片大腿切断 両下肢不完全	陸上	⑧ソフトボール投	12m31	5	
					⑨障害急歩	29秒6	1	大会新
大津市 長谷川 明 美	女	青年	知的障害	陸上	⑧立幅跳	1 m70	4	
					⑨50m競走	8秒7	5	自己新
近江八幡市 瀧 幸 好	男	青年	知的障害	陸上	⑦400m競走	1分02秒52	3	自己新
					⑧800m競走	2分28秒42	2	自己新
信楽学園 石川 小 夏	女	少年	知的障害	陸上	⑦100m競走	17秒96	4	
					⑧50m競走	9秒0	4	
近江学園 夏川 清 隆	男	少年	知的障害	陸上	⑧ソフトボール投	60m06	1	自己新
					⑧走幅跳	4 m54	2	
近江学園 寺村 元 喜	男	少年	知的障害	陸上	⑦立幅跳	2 m45	5	
					⑧100m競走	16秒59	7	
近江学園 山下 洋 平	男	少年	知的障害	陸上	⑧走高跳	1 m50	2	自己タイ
					⑧100m競走	12秒66	1	自己新
甲良養護学校 竹田 実	男	少年	知的障害	陸上	⑦400m競走	59秒88	2	自己新
					⑦立幅跳	2 m68	1	自己タイ
長浜養護学校 山口 高 司	男	少年	知的障害	陸上	⑧100m競走	13秒00	3	
					⑧50m競走	6秒8	4	
草津市 田中 光 則	男	2部	視力0から光覚弁まで	水泳	⑧25m自由形	15秒94	1	自己新
					⑧25mバタフライ	17秒82	1	自己新
甲西町 浅妻 祥 人	男	1部	両下肢麻痺、上肢に不随意 運動を伴わない走不能	水泳	⑦50m背泳ぎ	1分13秒56	1	自己新
					⑨50m自由形	1分04秒41	1	自己新
大津市 瀧山 三智子	女	少年	知的障害	水泳	⑧25m自由形	失格		
					⑧50m自由形	34秒27	1	大会新
信楽学園 小菅 仁	男	少年	知的障害	水泳	⑧25m自由形	15秒27	3	自己新
					⑧25mバタフライ	17秒46	5	
甲西町 松崎 法 子	女	少年	知的障害	卓球	⑦⑧	0勝2敗	3	
しゃくなげ園 田村 早 苗	女	少年	知的障害	卓球	⑦⑧	2勝1敗	2	
信楽通勤寮 辻 真喜夫	男	少年	知的障害	ボウリング	⑦⑧	4ゲーム合計 476点	4	
大津市 池田 節 子	女	(2部)	(身体障害)	フライング ディスク	⑧ディスタンス・立位	20m31	5	
					⑨アキュラシー・5m	4枚	6	
近江学園 梅 影 正 一	男	(少年)	(知的障害)	フライング ディスク	⑧ディスタンス・立位	42m29	2	
					⑨アキュラシー・7m	5枚	5	
長浜養護学校 谷口 覚	男	(少年)	(知的障害)	フライング ディスク	⑧ディスタンス・立位	37m64	1	
					⑨アキュラシー・7m	4枚	5	
山下・山口・竹田・寺村 組	男		知的障害	陸上	4×100リレー	49秒34	1	
サッカー競技			⑦1回戦 滋賀県1-0静岡県		⑧2回戦 滋賀県1-2東京都			

大会新記録3、自己新記録17 ※新谷選手・太田選手の大会新記録は自己新記録も兼ねる。

入賞数合計 金17 銀7 銅5

第39回県大会

アーチエリー競技

8月26日(日)、県立アーチエリー場にて、第39回滋賀県障害者スポーツ大会(アーチエリー)競技を開催致しました。

今年も8月の最終日曜の開催となりましたが、ここ数年は暦の関係で毎年開催日が早まっているため、日影の無い会場で真夏並みの暑さになった場合の対処等が危惧されました。

しかし、当日は薄雲が広がったことも幸いし、この時期にしては暑さもそれ程ではなく、参加者達は汗を流しながらもプレイを楽しむ事が出来ました。

今年大会には昨年並みの68名の参加がありました。この競技は経験者のみに参加を限定しているため、参加者の根本的な増加をはかる事はなかなか容易では

なく、とくに初心者に参加については、増加につながる何らかの対策をとる必要性を感じました。

一方、大会そのものは大いに盛り上がり、特に競技レベルは年々確実に上昇しており、30mダブルラウンド部門では、男子下肢障害の部で近江八幡の小林勝選手が六三〇点という大会新記録の素晴らしいスコアで優勝を果たしたのをはじめ、例年以上の激しい上位争いが繰り広げられ、結果として大会新記録が3つも生まれました。

また、入門的な意味合いが強い10m・20mのシングルラウンド部門でも、入賞者全員が三〇〇点を超える争いとなる組があるなど、例年通りの和気あいあいとした雰囲気に加え、真剣な争いも繰り広げられ、「来年は



10m・20m競技の一コマ

30mに」との声も聞かれました。なお、県大会新記録を樹立された方は次の通りです。

- 県大会新記録 (30mダブルラウンドのみ対象)
- 男子2部: 下肢障害の部 小林 勝(近江八幡六三〇点)
- 男子2部: 聴覚障害の部 藤谷 一夫(甲賀) 五六三点
- 女子2部: 下肢障害の部 北川 正子(湖北) 四一四点

フライング ディスク競技

10月14日(日)、県立希望が丘文化公園・陸上競技場にて、第39回滋賀県障害者スポーツ大会(フライングディスク競技)を開催致しました。

当日は絶好の秋晴れとなり、参加者たちは、緑豊かな競技場で、終日プレイを楽しむ事ができました。

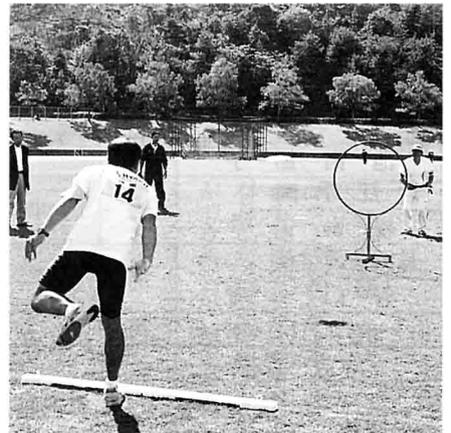
昨年度は、競技導入の手始めとして、とりあえず「ゆうあいピック」で正式採用となっている知的障害者のみを対象に、陸上競技大会に併せて実施しました。

しかし、今回の第1回全国障害者スポーツ大会から、身体的な制限を問わず参加できる競技として正式に実施される事になったのを受け、今年度から県大会の5つめの競技として大会を独立・実施することになりました。

なお、昨年試みとして行った、昼休みの模範試合が今年も継続されて、大会の盛り上がり大いに貢献しました。

一方、地区対抗部門では昨年・一昨年と準優勝の天津地区が3年振りに優勝を果たし、昨年の覇者湖南地区は3位にとどまりました。

大津地区は陸上競技・卓球競技と連続優勝を果たしており、この先も注目されます。また、甲賀地区や湖南地区の動きも目がはなせません。結果は来年の



アキュラシー競技ディスクート7の一コマ

昨年、知障者のみを対象としたところ、参加者は18名にとどまりました。そこで初めて身障者を含めた大会となる今大会にどれぐらいの参加者があるのか心配されましたが、

近江八幡地区と愛知犬上地区を除く11の地区から身障者一三九名、知的障害者一六名の計一五五名の参加があり、関係者を安心させました。

また、この大会は全国大会の開催情報に基づき、障害に関係なく、少年、青年、壮年の3つの年齢区分を用いる事としておりましたが、大会直前に全国大会が一切年齢区分を設けず開催される事に変更となった事から、それに合わせ、急速この大会も年齢区分を設けない事に変更するというハプニングもあり、直前まで色々な問題の処理に追われる結果となりました。

さらに、初めての大会という事で、運営にかかるノウハウが全く無いため、当日も様々な予想外のトラブルが起こるのではと危惧されましたが、幸い運営の支障となる大きな問題もなく、県フライングディスク協会の中村審判長の指示の下、予想以上に運営を円滑に進める事が出来、記念すべき初大会を成功に導く事が出来ました。

しかし、会場は車椅子使用者等にとつて不便な点もあり、その面に参加者・協力者にご迷惑をおかけしました。

協会では今後大会を発展させるために、より良い運営方法、会場等を模索していきたいと考えております。

大会で!

なお、各地区の成績は次の通りです。

優勝	大津地区	53点	第6位	八日市地区	21点
準優勝	甲賀地区	50点	第7位	守山地区	15点
第3位	湖南地区	41点	第8位	湖西地区	12点
第4位	草津地区	28点	第9位	湖東地区	10点
第5位	彦根地区	23点	第10位	愛知犬上地区	10点
			第11位	近江八幡地区	8点
			第12位	長浜地区	6点
			第13位	湖北地区	4点



車イスを用いての模範試合

卓球競技

9月16日(日)、草津市総合体育館にて第39回滋賀県障害者スポーツ大会(卓球競技)を開催致しました。

ここ数年、9月中旬の開催となつているため、今年もアリーナ内は若干暑く感じられることもありましたが、おおむね快適であり、参加者たちはラケットを片手に、心地よい汗をかかれています。

とするリーグ戦方式で行われましたが、この形式に改められて4年目の大会となり、これまでの教訓を生かし、運営を円滑に行う事が出来ました。

競技には、一七三名の参加者があり、人数こそ昨年を下回ったものの、平成10年以来3年振りに全13地区が揃つての出場となり、その点で価値がある大会となりました。さらに知的障害者の参加は確実に増えていることから、大会の若返りもあり、活気のある大会となりました。

第16回グラウンド・ゴルフ大会



ホールポスト付近の接戦の一コマ

協会単独主催大会

グラウンド・ゴルフ

9月30日(日)、県立長浜ドームにおいて、当協会主催第16回グラウンド・ゴルフ大会を開催致しました。

当協会の自主大会については、今年度から参加料を徴収することとなり、この大会が初めて該当の大会となりました。そこで、当然参加者が減少するものと考

え、減少数によつては、2ラウンドのプレイに変更する事も考えておりました。

しかし、実際には昨年と同じ一三五チーム・四〇五名の参加があり、例年通りの1ラウンド・8ホールで競技を行う事となりました。

以前、この大会は様々な運営のトラブルに悩まされていま

た。しかし、ここ数年は運営にかかる根本的な変更は行わず、発生したトラブルに対し小改良で対処するという方式をとることで運営を円滑に行うことが出来るようになりました。このことから、今大会も変更は最小限に留め、より円滑な運営を目指しました。

結果、開会式の後、最初の組の招集に手間取り、競技開始時間が遅れたものの、その他はおおむね円滑に運営を行う事が出来、関係者を安心させました。

競技においては、米原町Aチームが59打の素晴らしいスコアで優勝を果たしたのをはじめ、69打までの10打の中に、36チームがひしめき合う大熱戦が繰り広げられました。また、ホールインワン賞も20名が対象となる

など競技レベルの高い大会となりました。

協会では、この大会をより競技性を強めた大会に発展させる方向で検討しておりますので、出場にあたっては、基本的に地区で予選を行ない、ご選抜を頂きたいと考えております。

なお、大会の結果は次の通りです。

★団体成績

優勝	米原町A	59打
準優勝	甲賀町A	60打
第3位	長浜市A	61打
第4位	高島町A	61打
第5位	長浜市C	61打
第6位	湖北町A	62打
第7位	草津市C	62打
第8位	水口町C	62打
第9位	長浜市F	63打
第10位	彦根市B	64打
第11位	彦根市A	64打

※同打数の場合は合計年齢が高い方が上位となります。なお、12位以下の順位については、スペースの都合で省略させて頂き、各町村に通知しておりますので、ご確認下さい。

★ホールインワン賞

(2、7、8ホール対象)

- 長浜市 本田正太郎・西川和雄
- 近江八幡市 田中綾子
- 八日市市 大橋喜代松
- 甲西町 木下昭一
- 水口町 伴 晴夫
- 土山町 中森節子
- 甲賀町 広岡善夫・広岡次夫
- 甲南町 清家吉貞
- 信楽町 古谷 修
- 日野町 久保田順一

- 五個荘町 辻 茂雄
- 愛東町 石森光郎
- 愛知川町 久角すす子
- 湖東町 坪田康典
- 米原町 酒居久仁夫 柴田 寛
- びわ町 秋野 立
- 新旭町 伊庭敏男

ビームライフル競技

11月25日(日)、県立障害者福祉センターにおいて、当協会主催第4回ビームライフル競技大会を開催致しました。

当協会の自主大会のため、今回から参加料を徴収することになり、参加者がかなり減少する事を考えておりましたが、実際には過去最大であった昨年に次ぐ一八名の参加申込があり、この種目の人気を裏付ける結果となりました。

この大会は従来より用具確保から指導員の派遣まで、県ライフル射撃協会の全面的な協力を頂いて運営を行っておりますが、近年、当協会と大津市障害者スポーツ協会でも用具整備を行ない、また、今年は一県障害者ビームライフルクラブ(BRC滋賀)が結成されるなど、より主体的に運営が出来る体制が整つてまいりました。

第4回 ビームライフル競技大会



てレベルが向上しており、中には十点満点の王冠マークを連続で点灯させる方もあり、会場を沸かせていました。

さらに前述のビームライフルクラブ会員の活躍もあり、普段の活動の成果を如何なく発揮され、大会をより盛り上げて下さいました。

一方、音響誘導の部には計3名の参加があり、今年もセッティングにはかなり時間がかかったものの、昨年の競技運営のノウハウが生き、10点満点も出るなど例年より高いレベルの競技となりました。

(BRC滋賀所属) 一九四点
準優勝 大西 孝雄(多賀町)

第3位 木村 康郎(長浜市)

★女子一般射撃(目視)の部
優勝 岡本 千代子(大津市)

(BRC滋賀所属) 一八九点
準優勝 中森 節子(土山町)

第3位 中村 なほみ(大津市)

(BRC滋賀所属) 一八二点
★男子音響誘導の部
優勝 山本 藤夫(栗東市)

準優勝 谷口 稔(野洲町)

★女子音響誘導の部
優勝 坂下節子(栗東市)

※これ以外の順位については、スペースの都合で省略させて頂き、各町村に通知しておりますので、ご確認下さい。

★男子一般射撃(目視)の部
優勝 竹本 和夫(木之本町)

★お知らせ★

●当協会所有の競技用具・大会用具等の貸出について!

当協会では地区・施設・学校等で行われる大会や、スポーツイベント等の運営に必要な用具の貸出を無料で行っています。協会でも所有している主な物品はつぎのようなものです。

●陸上競技用具(一般用具、障

害急歩、スラローム等の用具)

●水泳競技用具(すべりマット、合図棒、ライフジャケット等の浮き具)

●アーチェリー競技用具(弓具一式、的台等)

●卓球用具(一般のラケット、ネット、サポート、盲人卓球用具等)

●フライングディスク競技用具(ディスクトップ、アキユラシーボール等)

●湯茶クーラー、地区名プラカード等大会運営に必要な一般的な用具

●障害者スポーツ関連書籍、ビデオテープ等(全国身スポ大会、ゆうあいピック、パラリンピック、競技別指導マニュアル等)



国松団長・池口健康福祉部長を囲んでの一コマ (開会式)

●グラウンド・ゴルフ競技用具(ホールポスト、クラブ、ボール、ゼッケン等)

●チームライフル競技用具(銃、ターゲット、ディスプレイ、机、椅子等)

●障害者スキー用具(チェアスキー、アウトリガー等)

●スペシャルスポーツカーニバルの競技用具(フラフープ、宅配便の荷物、大玉等)

●その他、ベタンク・ダーツ等

い。また、当協会が修理不能と判断したものについては、同等の代替品にて補充して下さい。

④借用期間中であっても、当協会が必要とする場合は、一旦、当協会にご返却頂きます。

※その他、アーチェリー用具・チームライフル用具については、競技団体等の指導を頂ける場合のみ貸し出しますのをご了承ください。

④借用期間中であっても、当協会が必要とする場合は、一旦、当協会にご返却頂きます。

※その他、アーチェリー用具・チームライフル用具については、競技団体等の指導を頂ける場合のみ貸し出しますのをご了承ください。

◆各種大会の結果◆

▼ジャパンパラリンピック水泳競技大会
平成13年8月19日(日)
於 なみはやドーム

□女子五〇m自由形 34秒89

□女子一〇〇m自由形 1分20秒86

□女子二〇〇m自由形 2分27秒27

□女子三〇〇m自由形 3分55秒03

□女子四〇〇m自由形 5分18秒03

□女子五〇〇m自由形 6分35秒03

□男子一〇〇m自由形 1分18秒03

□男子二〇〇m自由形 2分27秒27

□男子三〇〇m自由形 3分55秒03

□男子四〇〇m自由形 5分18秒03

□男子五〇〇m自由形 6分35秒03

□男子一〇〇m自由形 1分18秒03

10位 古川和彦 1分21秒80

9位 齋藤政信 3分05秒47

8位 齋藤政信 6分35秒03

7位 齋藤政信 6分35秒03

6位 齋藤政信 6分35秒03

5位 齋藤政信 6分35秒03

4位 渡辺・齋藤・古川・瀧山

3位 渡辺敦史 1分50秒74

2位 渡辺敦史 47秒61

1位 渡辺敦史 47秒61

男子一〇〇m平泳ぎ 47秒61

男子二〇〇m平泳ぎ 47秒61

男子三〇〇m平泳ぎ 47秒61

男子四〇〇m平泳ぎ 47秒61

男子五〇〇m平泳ぎ 47秒61

男子一〇〇m平泳ぎ 47秒61

男子二〇〇m平泳ぎ 47秒61

男子三〇〇m平泳ぎ 47秒61

男子四〇〇m平泳ぎ 47秒61

男子五〇〇m平泳ぎ 47秒61

男子一〇〇m平泳ぎ 47秒61

事務局だより

◎古切手等回収協力者

大津市 大石 康雄

浅井 初美

八木沢秀子

奥井 康仁

藤谷 美恵

川原崎景一

久保川一夫

豊郷町 山下 巧

今津町 山下 巧

滋賀県障害者フライング

デイスタククラブ

甲西町立甲西中学校

県立障害者福祉センター

※以上集まった古切手等は県の

ボランティアセンターに送らせて

いただきました。

ご協力ありがとうございました。

とさせていただきます。

とさせていただきます。

とさせていただきます。

とさせていただきます。

編集後記

○二十一世紀の幕開けの年も今月を残すのみとなりました。

○今年は大きな事件・事故・紛争など暗いニュースが続きましたが、12月1日に嬉しいニュースが入りました。皇太子妃雅子様が女の子を出産され、久々に明るい話題となりました。

○心からお祝いを申し上げますとともに、健やかなご成長をお祈りしたいと思います。

○今年のスポーツ界では滋賀県の高校生の活躍が目立ちました。全国高校選抜サッカー大会では草津東高校が準優勝、夏の全国高校野球大会で近江高校が準優勝、全国盲学校グラウンドソフトボール大会で県立盲学校が準優勝するなど全国的に「スポーツ県・滋賀」の知名度を上げてくれました。スポーツに親しむ者にとつてはこの上ない喜びです。

○記念すべき第1回全国障害者スポーツ大会が10月27日から29日まで宮城県で開催されました。別掲にも記録がありますように全員がもてる力を充分に発揮してくれました。また、今回から出場制限枠が撤廃され、以前に出場された優秀な選手も多数出場されており、レベルの高い大会となりました。

○これに対応するため、本県でも昨年度より強化指定選手を決め、全国大会出場選手のレベルアップを計っており、今後の競技性の高まりに感じていきたくと考えております。